

Q21 児童生徒が複数いる時、一人で課題に取り組むことが困難な児童生徒がいるため、十分に授業をすることが難しいと感じています。



特別支援学級担任

全員が一人で課題に取り組むことが困難なため一人の担任で授業をするのが難しいと感じています。

低学年の児童の場合、課題を一人で進めることが難しいです。



通級指導教室担当



特別支援学級担任

6人で個別の課題に取り組んでいると即時強化ができず、子どもの集中力がとぎれてしまいます。また、周りの友だちのやっている課題が気になり集中できない子どももいます。

A 児童生徒が一人で課題に取り組むためには、障がいの特性等を踏まえた指導・支援の工夫が重要です。

以下のチェック視点で、授業を見直してみましょう。

○指導内容や教材

- 設定されている指導内容は、難し過ぎたり、簡単過ぎたりしていない。
- 児童生徒の興味・関心や生活とのつながりが分かる教材にしている。

○場面設定

- お互いの学習が干渉しないように、仕切り板の設置や机の向き等を工夫している。

○学び方の支援

- 時間の見通しを視覚的に持てるように、市販のタイマーやタブレット端末のタイマーのアプリを使っている。
- 課題の順番や内容を、実物やイラスト、文字等で、視覚的に示している。
- 課題の順番をパターン化し、見通しをもちやすくしている。
- 課題の取り組み方や終わりを、実物やイラスト、文字等で、分かりやすく示している。
- 分からなかった時や困った時の対処方法を、児童生徒に伝えている。
- 机上での課題だけでなく、アクティブに活動できる課題も用意している。
- 他の児童生徒と関わり合う時間を設定している。

一人で課題に取りかかったり、課題を一人でしてしまったり、次の課題に取りかかったりした時は、素早く褒めて、取り組む意欲を高めましょう。



教師の働きかけも含めた環境を整えれば、児童生徒は必ず一人で学習に取り組めるようになります。改善が進まない場合は、近隣の特別支援学校の巡回相談員（特別支援教育コーディネーター）に相談して、アドバイスをもらいましょう。